

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名	熊本北部流域公共下水道維持管理負担事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり		所属部	水道局	課長名	久留 伸二
体系	施策	10	水環境の保全		所属課	上下水道課	担当者名	主事 中山 大志
	基本事業	28	水質の浄化		所属班	庶務料金班	(内線)	1164
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法	
	下水	1	1	3	10226		成果優先度評価結果	
							コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	熊本北部流域下水道の維持管理に要する費用の市町村負担金等に関する覚書により、各自治体からの汚水流入水量に基づき維持管理経費を負担する。平単価設定については平成22年度までは1m当り50円、平成23年度より1mあたり46円で設定された。昭和57年に熊本県が事業主体となり、合志町、熊本市、菊陽町の3市町による北部流域関連公共下水道事業が始まり、平成元年に浄化センターが熊本市に建設され、供用開始されたことにより始まった。供用開始より20年近く経過しているため、施設の老朽化が心配される。平成18年度に指定管理者制度導入、実施中。平成15年度に植木町が参入。平成21年度に熊本市と植木町が合併。
【業務の流れ】	熊本北部流域下水道の維持管理費に係る合志市の負担金の算出、協議、検討、支払事務。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・負担金の支払い事務等	・負担金の支払い事務等。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 負担金の額	千円
イ	・汚水流入水量の増加に伴う負担金増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
・浄化センター及び関連施設。	→ ア 浄化センターへの流入量
	イ 浄化センターへの流入量に占める合志市の割合
	件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・施設が支障なく稼働できるようにする。	→ ア 浄化センターからの問題案件の報告数
	イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
事業主体が熊本県であり、北部浄化センターの問題点については、問題案件の報告という形でしか状況の把握を行えないため、設定は妥当である。目標値については、人口の増加により北部浄化センターへの汚水流入量が増えることを想定し設定している。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア	千円	120,686	102,595	106,703	106,292	112,920	119,499	126,461	
	イ									
② 対象指標	ア	m ³	2,465,280	2,484,740	2,134,056	2,502,810	2,233,307	2,298,849	2,366,314	
	イ	%	11	11	11	11	11	11	11	
③ 成果指標	ア	件	0	1	1	0	1	1	1	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	120,685	102,595	106,703	106,292	111,666	119,499	126,461
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
人件費	(A) 事業費計	千円	120,685	102,595	106,703	106,292	111,666	119,499	126,461	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	106,703	106,292	111,666	119,499	126,461	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	5	5	5	4	4	4	4	
人件費	延べ業務時間	時間	80	70	100	75	80	80	80	
	(B)人件費計	千円	320	278	398	309	370	370	370	
トータルコスト(A)+(B)		千円	121,005	102,873	107,101	106,601	112,036	119,869	126,831	

総トータルコスト
全体計画
～
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	熊本北部流域公共下水道維持管理負担事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 各自治体との協議に基づく目標値であり、達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業主体が熊本県であるので、合志市で積極的な削減は行えないが、老朽化により機能低下した施設を計画的に改築更新してもらうことにより、トラブルの発生や補修箇所が減り、円滑な維持管理が出来ると思われるので、協議を継続していく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 当処理区域に限られた維持管理業務であるため、統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の経費により実施されている。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員により実施されている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益者より使用料を応分負担して頂いているので、適切である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公益性の高い事業であり、負担割合も妥当である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

現状を維持する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 現状を維持する。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現状を維持する。																					